

宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会

自殺者を一人でも減らすために私達ができること

目 的

令和元年度の宮崎県自殺数は190名（厚生労働省発表）となっており、ピーク時の平成19年から比べるとほぼ半分以下ではあるが、以前として全国平均より高い数値となっている。介護支援専門員は、地域で介護を受けている高齢者やその方を支えている家族や地域の方の自殺予防に取り組むために、自殺の兆候や関係機関との連携の知識を学ぶためにこの研修会を企画します。

主 催 宮崎県（委託先：一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会）

日 時 令和2年 11 月 18 日（水）13:30～15:45（※受付 13:00～）

会 場 参加者の自宅や事業所（ZOOM を活用したオンライン研修）

※参加申し込みのあった方にオンライン研修の参加方法について後日ご案内します。

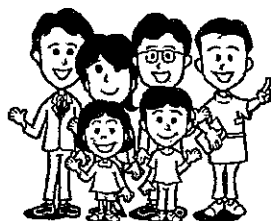
対 象 者 宮崎県介護支援専門員協会の会員

宮崎県内の介護支援専門員及び医療・福祉関係者

参 加 費 無 料

■報 告 宮崎県における自殺者の現状等について
宮崎県福祉保健課 自殺対策担当

■講 演 「災害弱者と自殺の関連性」
講師：宮崎大学医学部看護学科 地域精神看護学講座精神看護学分野
教授 原田 奈穂子 氏



【問合せ先】

一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 事務局 小島
〒880-0001 宮崎市橘通西5丁目6-57 山崎ビル4階
TEL 0985-61-1830

略歴

原田 奈穂子 (はらだ なほこ)



宮崎大学医学部看護学科地域精神看護学講座精神看護学分野 教授

聖路加看護大学看護学部卒業、ペンシルバニア看護学部成人急性期ナースプラクティショナー修士課程修了、ボストンカレッジ看護学部博士課程修了。看護学博士。看護師・保健師

社団法人日本プライマリケア連合学会東日本大震災支援プロジェクトコーディネータ、東京大学大学院看護学科特任助教、防衛医科大学校成人看護学講座講師、東北大学大学院医学系研究科保健学専攻地域ケアシステム看護学分野を経て、現職と国立保健医療科学院保健指導分野客員研究員を併任。宮崎では宮崎こころのかまえ研究会やいろは会を通して、地域の防災力向上の取り組みを行っている。

東日本大震災において、3月14日に留学先から帰国・宮城県気仙沼市にての医療支援活動を契機に、日本の災害保健・医療分野における、人道支援における質の保証と説明責任と、緊急時支援者支援に関する実践と研究に従事。

2016年熊本地震発災後、日本プライマリケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト派遣者として、避難所の設置や運営に人道支援における質の保証と説明責任に基づいた支援を益城町避難所対策チームとともに展開。現在も益城町産業衛生委員会アドバイザーとして職員のメンタルヘルスサポートに関わる。

WHO版災害や紛争など緊急における精神保健および心理社会的支援サイコロジカルファーストエイド認定トレーナー。子供のためのサイコロジカルファーストエイド認定トレーナー。緊急時の教育の最低基準認定トレーナー、子どもの権利保護の最低基準認定トレーナー。2013年から人道支援における質の保証と説明責任・スフィア基準の公認トレーナー。

連絡先: nahokonobuta@gmail.com